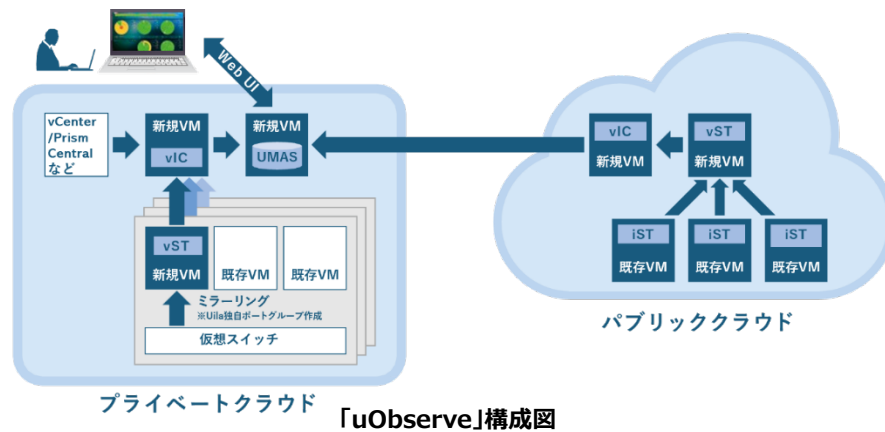


2025年4月25日
 株式会社東陽テクニカ

仮想基盤・VDI の管理／監視／ボトルネック可視化ツール
Uila 社「uObserve」最新バージョン ver.6.0 を発売
 ～ Citrix VDI 解析機能・ChatGPT 連携機能を追加 ～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也^{こうの としや}、以下 東陽テクニカ)は、
 米国 Uila社製の、仮想環境下の問題切り分けやボトルネックの可視化を行うための解析ソリューションソフトウェア
 「uObserve」最新バージョン ver.6.0 を 4 月 25 日に販売開始いたします。ver.6.0 では、Citrix VDI(仮想
 デスクトップインフラ)解析機能、ChatGPT 連携機能“AskUila”^{アスクウイラ}を新たに搭載、Citrix VDI 環境のトラブルシュー
 ートの効率化や ChatGPT 連携によるナレッジ活用を実現します。



【概要】

仮想基盤／VDI の可視化、分析、最適化に特化した解析ソフトウェア「uObserve」は、VMware／Hyper-V／Nutanix AH といったオンプレミス仮想化環境におけるエージェントレス^{※1} 導入に対応し、加えて AWS／Azure／GCP といった主要パブリッククラウド環境にも対応します。VM(仮想マシン)の構成や相互の通信連携、システム上のボトルネックを一元的に可視化・分析できます。通信レスポンスの問題に対してアプリケーションと基盤のどちらに原因があるのかについての切り分けや、データセンター、クラウド環境への移行など、システム環境を変更した場合の性能調査にも有効です。

東陽テクニカでは、2017 年から「Uila」の製品名でこのソフトウェアの取り扱いを始め、国内で数多くの企業に導入しています。近年では、オプザバビリティ(可観測性)の観点から業界における反響が高まり、2022 年には製品名が「uObserve」に変更され、企業内の情報システム機能の効率化に寄与しています。

最新バージョン ver.6.0 では、Citrix Delivery Controller^{※2}との連携が導入され、Citrix VDI(仮想デスクトップインフラ)環境におけるアプリケーションの依存関係マッピングをエージェントレスで実現できるようになりました。加えて、エンドユーザーの Citrix セッション情報(接続状態、遅延、リソース使用状況など)を可視化でき、ユーザー体験の最適化にも貢献します。2021 年に追加された Horizon VDI 解析機能に加え、Citrix VDI 解析機能

も搭載したことにより、幅広い VDI 監視の需要に対応します。また、ChatGPT との連携機能“AskUila”も実装し、Uila 社のナレッジベースの活用や操作手順についての質問に即座に回答を提供します。これによって「uObserve」の学習コスト削減や、より効率的な運用が期待できます。

※1 エージェントレス：監視対象のシステムに直接監視ソフトウェア(エージェント)をインストールせずに、サーバーやアプリケーション、ネットワークデバイスなどの IT システムのパフォーマンスを監視すること。

※2 Citrix Delivery Controller：Citrix Virtual Apps and Desktops 環境においてユーザーの接続要求を受け、適切な仮想マシンやアプリケーションへのルーティングを行う中核コンポーネント。

【 Uila 社「uObserve」ver.6.0 の主な新機能 】

・Citrix VDI 解析機能

Citrix VDI の運用管理者に対して、パフォーマンス、ユーザー行動、インフラストラクチャーの可用性・健全性に関する詳細な情報を提供し、プロアクティブな管理と迅速な問題解決を実現します。

利用には Citrix VDI モニタリングオプションライセンスが必要です。

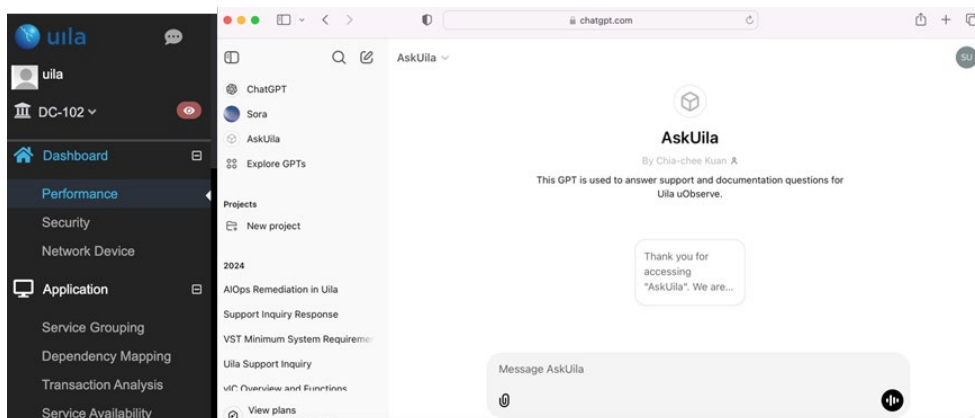


Citrix VDI 解析機能(画面イメージ)

・ChatGPT 連携機能“AskUila”

「uObserve」に関する質問への回答を即座に入手してトラブルシュートのヒントを得ること、容易にユーザーガイドドキュメントへアクセスすること、Uila 社のナレッジベースを利用することが可能になります。

利用には ChatGPT のログイン情報が必要です。



“AskUila”(画面イメージ)

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新を推進しています。その事業分野は、脱炭素／エネルギー、先進モビリティ、情報通信、EMC、ソフトウェア開発、防衛、情報セキュリティ、ライフサイエンスなど多岐にわたり、クリーンエネルギーや自動運転の開発などトレンド分野への最新計測ソリューションの提供や、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力しています。新規事業投資や M&A による成長戦略のもと国内外事業を拡大し、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部 広報・マーケティンググループ
TEL：03-3279-0771(代表) / E-mail：marketing_pr@toyo.co.jp
製品ページ：<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/uila.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。